

平成 22 年 1 月 10 日

## ～銀行員から見た日本経済の現状～

千葉木鶏クラブ（1 月度） 例会

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

新年もあっという間に小寒が過ぎ、♪春よ来い、早く来い♪と春を待つ気分が楽しくなります。

ですが、温暖化のはずなのに玄関先の梅の開花が遅れているのが気になっています。

さて、東洋思想の政治論は、“国を経（おさ）め、民を済（すく）う”という「経世済民」にあります。

日本経済が安定成長に乗るかデフレ圧力に屈するか瀬戸際に立たされている状況の世相からみて、そのことが今日ほど強く求められているものと思います。

今回は、本会の重鎮でもあります吉江先生から「銀行員から見た日本経済の現状」と題してタイミングの良いお話が聞けるとおもいます。

本年の吉兆につながるものであります。

多くのご参加をお待ちしております。

### 記

1. 日 時 : 平成 22 年 1 月 24 (日) AM 8 時 ~ 11 時
  2. 場 所 : 平山建設 (株) 会議室 (6 F) 電話 0 4 7 6 - 2 3 - 1 1 1 1  
成田市花崎町 7 9 5
- <交通案内> 京成成田駅東口徒歩 5 分、J R 成田駅徒歩 8 分 駐車場有り。
3. 会 費 : 1 0 0 0 円
  4. 演 題 : 銀行員から見た日本経済の現状
  5. 講 師 : 吉江 孝夫 先生

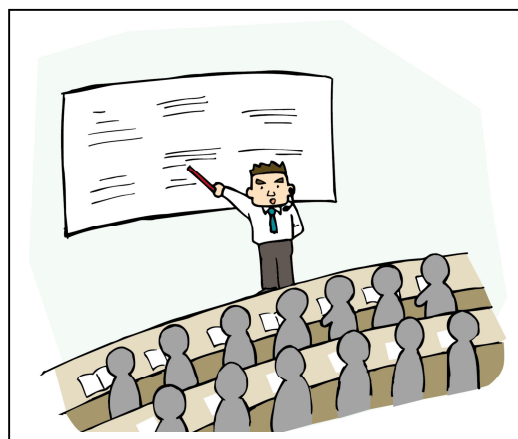
### <レジュメ>

- ・日本経済は、金融危機と世界不況の嵐はひとまず乗り切ったが、今度はデフレに包まれ四苦八苦。安定成長に乗れるか日本経済は岐路に立っている。
- ・日本航空の経営再建は会社更生法活用での再建を固めた。透明な手続きで経営を立て直すのが狙い。
- ・中長期的には、少子高齢化や人口減少による経済の縮小の難題が控えている。
- ・波乱万丈な銀行員生活 44 年間に総括します。

### 1、銀行に公的資金が注入されるとはどんなことか。・・・資料参照

### 2、身体が覚えたこと・感じたこと。

- ① お金には 2 種類あります。
- ② 性悪説を信じるようになりました。
- ③ 弁護士の忠告が役にたっています。
- ④ 自分の身は自分でまもる。
- ⑤ 最善の断り方は”困りましたね”
- ⑥ 座標軸でものをみる。
- ⑦ バランシートで価値判断をする。
- ⑧ 量が質を変える。
- ⑨ 経済はマクロかミクロかで答えが逆になります。
- ⑩ 信じる人は救われます。



### 3、読んで良かった本

- ①『戦後世界経済史』 稿本武徳著（中央公論社）「市場化」を軸に世界経済の半世紀を概観。
- ②『資本主義はなぜ自壊したのか』 中谷巖著（集英社）衝撃の懺悔の書。
- ③『すでに世界は恐慌に突入した』 船井幸雄&朝倉慶著（ビジネス社）

未曾有の混乱が世界を蹂躪し、ドル亡き後の新しい秩序が生まれる。頭をガーンと殴られた感じ。

### <事務局からのお願い>

メール便発送につきましては、次回から当会のホームページを参照して頂くか P C メールにて案内させて頂きます。パソコンが苦手な方は従来通りとさせて頂きたいと思っております。

事務局 丸島 忠夫 Email: [marushima\\_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp) Tel/Fax: 0475-25-1211